

孔内水平載荷試験の目的と概要

目的

- 地盤の物性把握(変形特性、地盤の強さ)

概要

- ボーリング孔の壁面を加圧し、その時の圧力と壁面の変形量を測定する原位置試験

孔内水平載荷試験・試験孔 留意事項

理想的な試験孔：乱れ少、はらみ・変形少、円筒状

- 孔壁の仕上がりの良し悪しが結果の良否に影響する

掘削後直ちに試験を

- 掘削から試験までの時間が長いと孔壁の劣化が進む

循環流体（泥水）の圧力・水量を多くしない

- 孔壁の洗掘、攪乱、孔径拡大の原因になる

掘削後のスライム処理は短時間で

- 長時間の送水は孔壁を乱す可能性がある

コアチューブ等の引き上げはゆっくりと

- 急速に行うと、孔壁の乱れ・崩壊・洗掘の原因になる

孔内水の変動を少なく

- 孔壁の緩み・崩壊の原因になる

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成